

— M7.6の大地震発生を想定した参加者約1万人の大規模避難訓練 —

### 『関大防災 Day2013～広がれ！みんなの安全・安心！～』を実施

日 時：10月17日(木)11時40分～16時10分 場 所：関西大学千里山キャンパスほか

関西大学では、10月17日(木)、総面積が約35万㎡という広大な千里山キャンパスほか2つのキャンパス(高槻・堺)で、学生・教職員約1万人が参加する大規模な地震避難訓練を行います。

訓練では、授業中にマグニチュード7.6の上町断層直下型地震が発生したと想定し、学生・教職員の避難から避難誘導、避難者の安否確認に至るまでを、本学オリジナルの「地震対応マニュアル」に基づいて実施します。

本学では、学内における防犯・災害等の対策の整備と体制の確立、危機管理マニュアルの整備、安全関係シンポジウム・講演会の開催、地元自治体・警察署・消防署との協力体制の確立など、「安全・安心」づくりに向けた諸活動を展開しています。大規模地震避難訓練は2008年から実施しており今年で5回目を迎えます。避難訓練以外にも防災講演会など防災にかかわるさまざまなイベントをあわせて行います。

さらに、近隣連合自治会をはじめとする地域住民の方と一緒に炊出し訓練を実施するなど、昨年同様、地域ぐるみで訓練を盛り上げます。また、千里山キャンパス以外の2つのキャンパス(高槻・堺)でも、規模に応じた避難訓練・防災イベントを同時に実施します。

なお、高槻ミューズキャンパスでは、初等部・中等部・高等部を含めた避難訓練を、別日程にて実施する予定です。

#### 記

1 日 時 10月17日(木)【報道受付 11:00～】

(1) 地震避難訓練 11:40～12:10

2時限目の授業中、11:40に地震音を放送。授業担当者らは各避難場所まで学生を誘導し、安否確認シートを配布・回収。

(2) 防災イベント 11:40～16:10 (以下は千里山キャンパスで実施する内容です)

- ・炊出し訓練
- ・避難器具体験
- ・応急処置等簡易体験
- ・防災啓発ブース
- ・大阪府保健所における「食と防災」の取組み紹介
- ・吹田市危機管理室の取組み紹介
- ・煙体験
- ・消化器使用・消火栓放水体験
- ・水害時避難訓練
- ・防災講演会

2 場 所 関西大学千里山キャンパス(吹田市山手町3-3-35)ほか

3 参加者 本学学生・教職員および近隣住民約1万人

以 上

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 広報室広報課 担当: 石田、依藤

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-1131 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

## ■「関大防災Day2013」実施概要

---

### ●千里山キャンパス・高槻キャンパス・堺キャンパス対象

#### (1) 地震避難訓練 (11:40~12:10)

2時限目の授業中、11:40に地震音を放送。その後、授業担当者等が各避難場所まで誘導。避難場所にて安否確認シートを記入・提出し、各自解散。

#### (2) 安否確認訓練 (11:50~終了まで)

安否確認方法の有効性を検証する。各学部執行部で、所属学生の状況把握に努める。

### ●千里山キャンパス対象

#### (3) 炊出し訓練 (9:30~配給実施終了まで)

千里山キャンパスに隣接する4つの連合自治会に、それぞれ一釜を担当いただき、被災時に各家庭から持ち寄った材料を想定した4つのメニューの炊出しを行う。

#### (4) 煙体験 (12:00~15:00)

テントハウス内に人体に無害な煙を発生させ、火災発生時における煙の怖さと避難方法を体験する。

#### (5) 避難器具体験 (12:00~15:00)

避難器具を使用しての降下避難を体験する。

#### (6) 消火器使用・消火栓放水体験 (12:00~15:00)

実際に消火器を使用してオイルパンの火を消す消火体験、及び屋外消火栓を使用して放水することにより、実際の水圧等を体験する。

#### (7) 応急処置等簡易体験 (13:00~16:00)

日本赤十字社の協力を得て、応急処置に関する基礎知識と基礎実技を身につけるための講習会を行う。

#### (8) 水害時避難訓練 (12:00~15:00)

可搬式実物大ドア模型を用いた浸水時避難体験。実際に浸水した場合、どのくらい水位が上がればドアを開けることができなくなるかを体験する。

#### (9) 防災啓発ブースの設置 (11:50~終了まで)

より多くの学生・教職員・近隣住民が防災への関心を高め、防災意識を共有できるよう、災害用品の紹介、保存食の試食、防災に関する取組みなどを紹介するテントブースを設置する。

#### (10) 防災講演会 (14:40~16:10) **※別紙参照**

日本赤十字社の国内・海外での豊富な経験に基づいた、『救護活動時の現実』というテーマでの防災講演会を実施する。

#### (11) 大阪府保健所における「食と防災」の取組み紹介 (11:50~終了まで)

大阪府の特定給食施設が災害時にどのように機能するか紹介するとともに、災害時の食事や栄養補給の重要性についてパネル等を使用し、説明する。

#### (12) 吹田市危機管理室の取組み紹介 (11:50~終了まで)

吹田市で備蓄しているアルファ化米を実際に調理・配布したり、段ボールベットや簡易トイレ等、吹田市が準備している災害時備蓄の主要な物品について紹介する。

以上

# 関大防災DAY2013 防災講演会

命を救う活動の現実と課題

## 救護活動時の現実

～ あなたは  の意味を知っていますか？～

【主催】関大防災Day2013 実行委員会

日時

10月17日(木) 14:40～16:10

会場

関西大学 尚文館1階 マルチメディア AV大教室

講師

木村 弘之 氏 (日本赤十字社大阪府支部 事業課 救護係長)

<講師プロフィール> きむら ひろゆき

1999年、日本赤十字社大阪府支部に入社。日赤近畿ブロック代表支部として本社および近畿ブロック各支部間、また大阪府支部として大阪府内の病院等施設間の、国内救護における連絡調整を主に担当。

➤ 過去の派遣経験

(国内) 2004年 新潟県中越地震 第1班

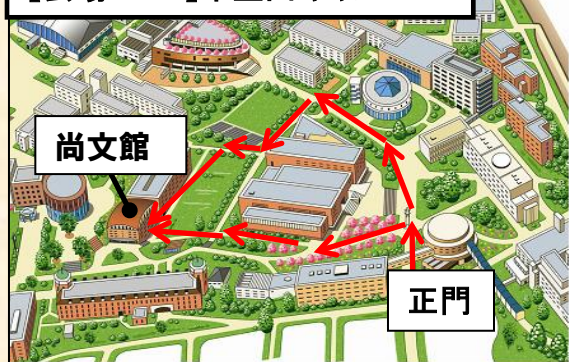
2011年 東日本大震災 第1班、第6班帯同物資移動班、第15班

(国際) 2007年 ケニア洪水救援ERU第2班



《ケニア洪水救援ミーティングの様子》

【会場MAP】千里山キャンパス



※参加費は不要です。聴講自由ですので、直接会場へお越しください。

国際活動に従事したい！

ボランティア活動に関心がある！

被災地の復興活動に協力したい！など、

みなさん奮ってご参加ください！

(事前のお申込も受け付けています。詳しくは裏面をご覧ください。)

# FAX送信用紙

## 【関大防災Day2013】 防災講演会

FAXによる事前申込を受け付けております。

参加を希望される方は、下記にご記入の上FAXにてお送りください。

◆住所	〒 ー
フリガナ ◆氏名	
◆電話番号	
◆年齢	
◆講演会を 知ったきっかけ	

※ 申込時にご記入いただきました個人情報につきましては、受講者名簿の作成の目的にのみ使用いたします。

### 【申込書送信先】

関西大学 スポーツ振興グループ気付 「防災Day2013」係

《住所》 〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

《TEL》 06-6368-1419[9:00~17:00]

《FAX》 06-6368-0967